

物語はこうして生まれる

— ノートから小説、そしてスクリーンへ —

一つの物語は、どこから生まれ、
どのように形になっていくのでしょうか。

本講演では、小説家・脚本家の宇山佳佑氏をお迎えし、
一つのアイデアがノートから小説へ、そしてスクリーンへと
広がっていく創作のプロセスをたどります。
創作者の視点から、物語を生み出す想像力と、
言葉と映像それぞれの表現の可能性を探り、
「デジタル時代における人文科学」について考えます。

日時

2026年 **9月30日**(水)
15時00分～16時20分

場所

立正大学 品川キャンパス 9B21 教室

講師

宇山 佳佑 氏 (小説家・脚本家)

小説家・脚本家として、小説、映画、テレビドラマなど幅広い分野で活躍されています。
「今夜、ロマンス劇場で」や「信長協奏曲」などの脚本を手がけ、小説でも「桜のような僕の恋人」が
ベストセラーを記録。2026年9月7日には、最新作「ママはもういないんだ」を発表されました。



事前に
お申込みください。



講演会終了後、サイン会を予定しています。
ご希望の方は、ぜひ宇山佳佑氏の「新刊 + 1冊」を
お持ちください。
※サインはお一人2冊まででお願いいたします。

※講演中の写真・動画撮影はご遠慮ください。